

# 広報とくしま

新年号

昭和61年 1/1

発行：東京都豊島区 編集：企画部広報課 〒170 豊島区東池袋1-18-1 ☎981-1111



三光天像 三光天とは、太陽と月と星をあらわす天(即ち神)ということである。裏面に、"大明星四大天子、中尊施主金子小平次直徳天明八成中八月二十八日妙永山十三世日信"とある。

施主金子直徳（1750～1824）は白兎園宗周という俳人で江戸西北郊の地誌「若葉の柏」の著者である。雑司が谷3丁目の本納寺蔵。



謹んで新春の

お慶びを申しあげます



豊島区議会議長



豊島区長

本橋

博

日比 寛道

# ください

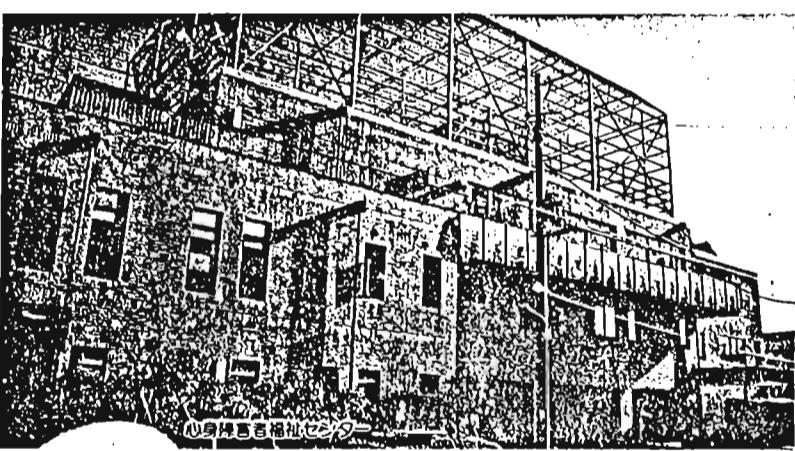
## 施設

「みんなできずく生活文化都市」をかけており、  
でも充実をはかり、勤労福祉会館をはじめ図書館・  
区民サービスの充実を図っています。区民のみなさ  
所在地・電話番号は裏面の一覧表をご覧ください。



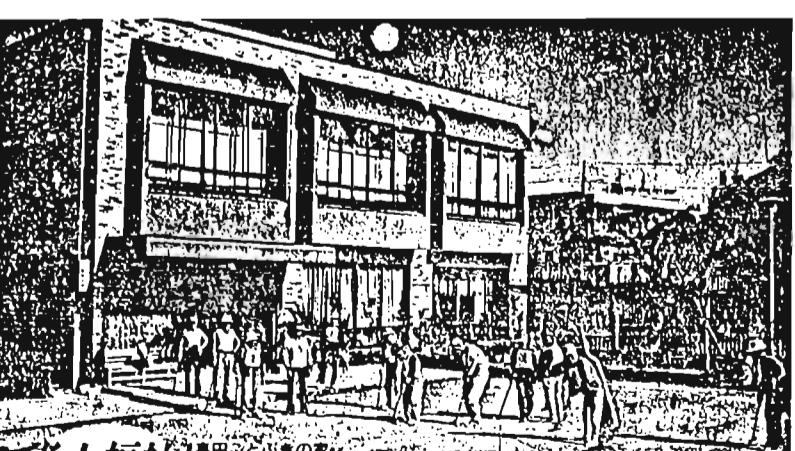
### 区民 集会室

地域の活動の場として、集会、勉強会、サークル活動などにご利用ください。区内17か所にあります。また、区の施設（出張所、ことぶきの家等）に付設してある会議室も30か所あります。



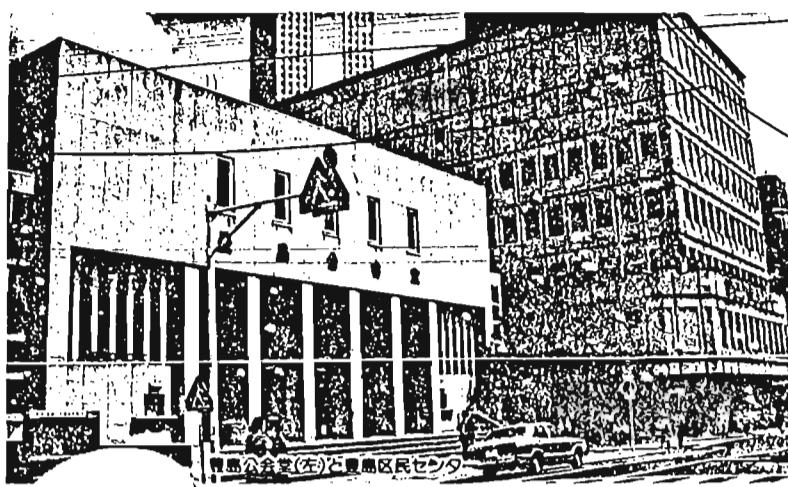
### 心身障害者 福祉センター

心身障害者(児)の社会生活能力の発達を促すための相談・訓練等を行い、社会参加と自立の助長をはかります。利用できる方は、区内に居住する心身障害者(児)と保護者およびこれらの方が組織する団体・ボランティアです。会議室、和室、音楽室、調理実習室などがあります。



### 老人福利 センター ことぶきの家

おとしよりの生活を健康で明るいものにするため、いろいろな相談を行い、教養・趣味・レクリエーションなど各種の事業を行います。60歳以上の方ならどなたでも利用できます。区内に12か所あります。

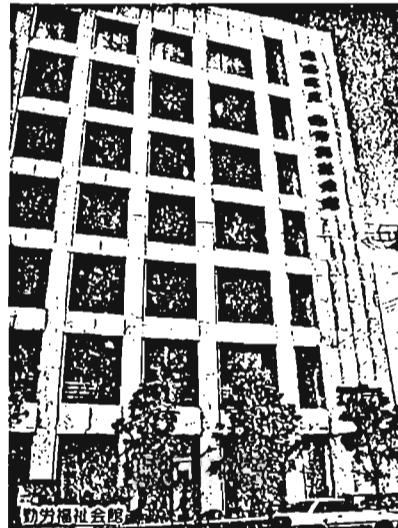


### 豊島区民 センター

施設等の貸出しと各種の相談を行うほか、商工センター・社会教育センター等の機能をもあわせもつ福祉と文化の総合施設です。展示場、音楽室、料理教室、和室、会議室（18～150名）、文化ホール（座席数287）があります。

### 豊島 公会堂

昭和27年、戦後では都内最初の公会堂として開設されました。以来、講演会・音楽会・演劇・映画会などに利用されています。座席数938。



### 勤労福祉 会館

中小企業勤労者の福利向上を図るために設置された施設です。会議室（20～130名）、和室、音楽室、料理実習室、工芸室、体育室、喫茶室等があります。



### 消費生活 センター

消費生活に関する相談受付および消費者グループの活動の場として、区民生活の安定向上を推進させることを目的とした施設です。技術実習室、リサイクルルーム、資料展示コーナーなどがあります。併設の勤労青少年センターもご利用ください。

### 厚生会館

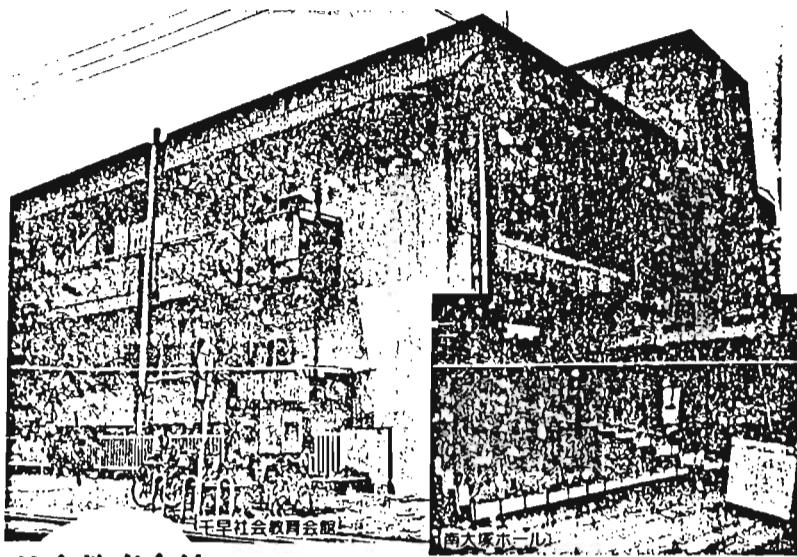
区民の福祉増進、文化生活の向上などのための福祉厚生施設です。会議室、読書室などがあります。



# ご利用



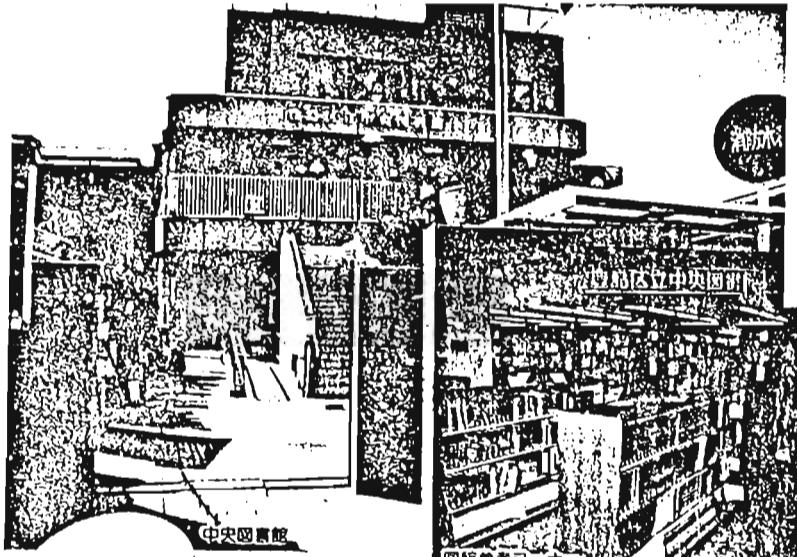
豊島区では、21世紀をめざす基本構想で  
その実現のために努力しています。施設面  
児童館などを基本計画にもとづき建設し、  
まのご利用をお待ちしています。各施設の



## 社会教育会館 青年館

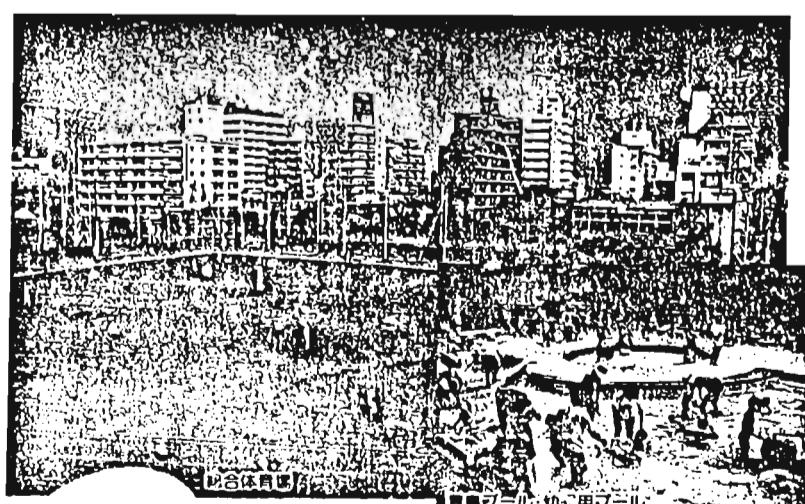
地域の方々の相互交流、学習や文化活動の場です。会議室、音楽室などがあります。社会教育会館は3か所、青年館は1か所あります。

また、南大塚ホールは音楽会・舞踊会などにも利用できる多目的ホールです。座席数300。



## 図書館

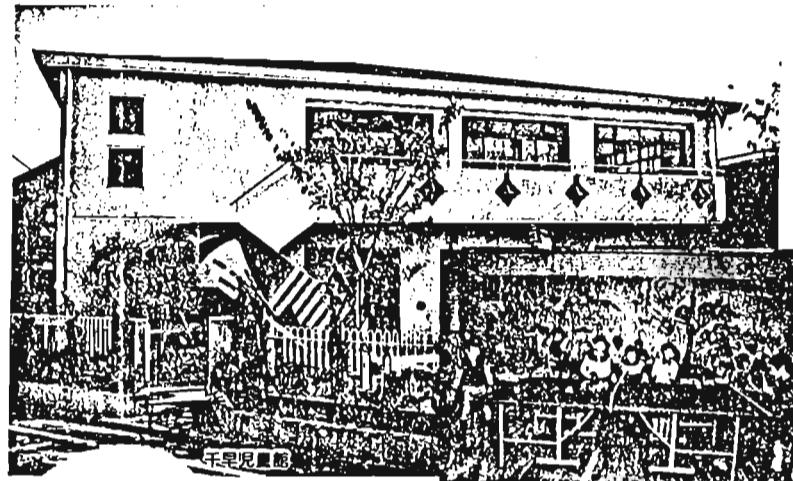
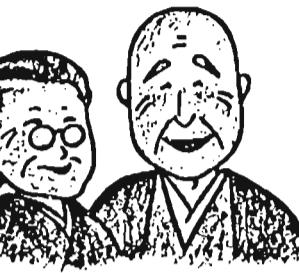
図書資料の閲覧・貸出しのほか、読書会、講演会、映画会なども行っています。区内に5館あります。ほかに2か所の図書貸出センターがあります。



## 体育館・ 体育場等

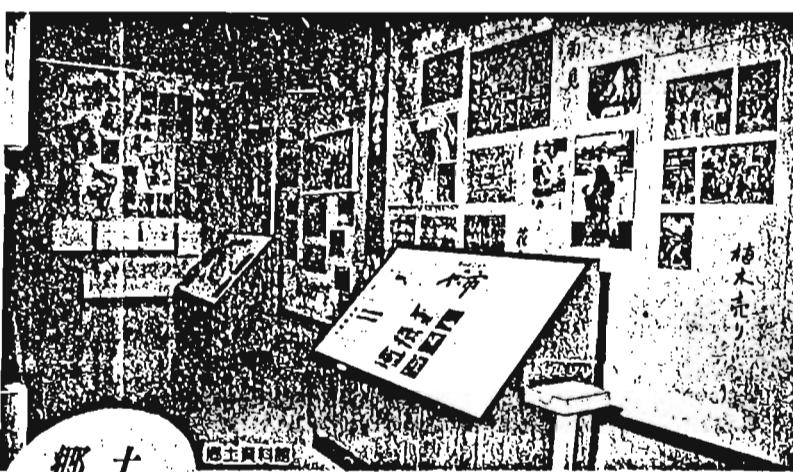
区民の体育・レクリエーションの普及・振興をはかり、体力向上および健康増進を目的とした施設です。体育館2か所、体育場2か所、プール1か所があります。ほかに区外に野球場が1か所あります。

また、近くの施設で気軽にスポーツが楽しめるように、中学校の体育館10か所、校庭8か所を区民に開放する「中学校スポーツ開放」も行っています。



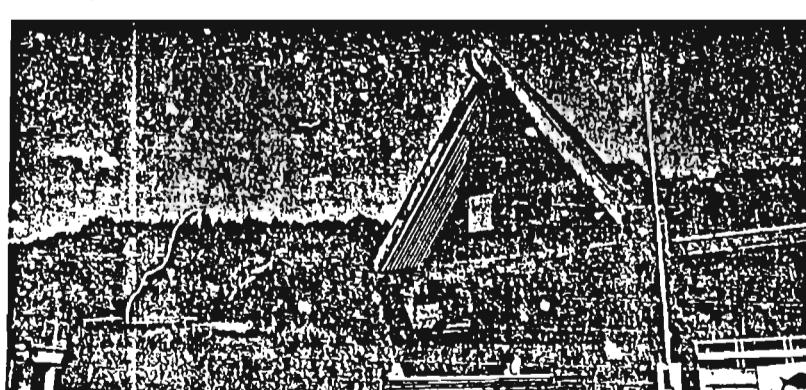
## 児童館

児童に健全な遊び場として、よい環境を与え、個別的・集団的な指導も行います。母親クラブなども利用できます。区内に19か所あります。



## 郷土 資料館

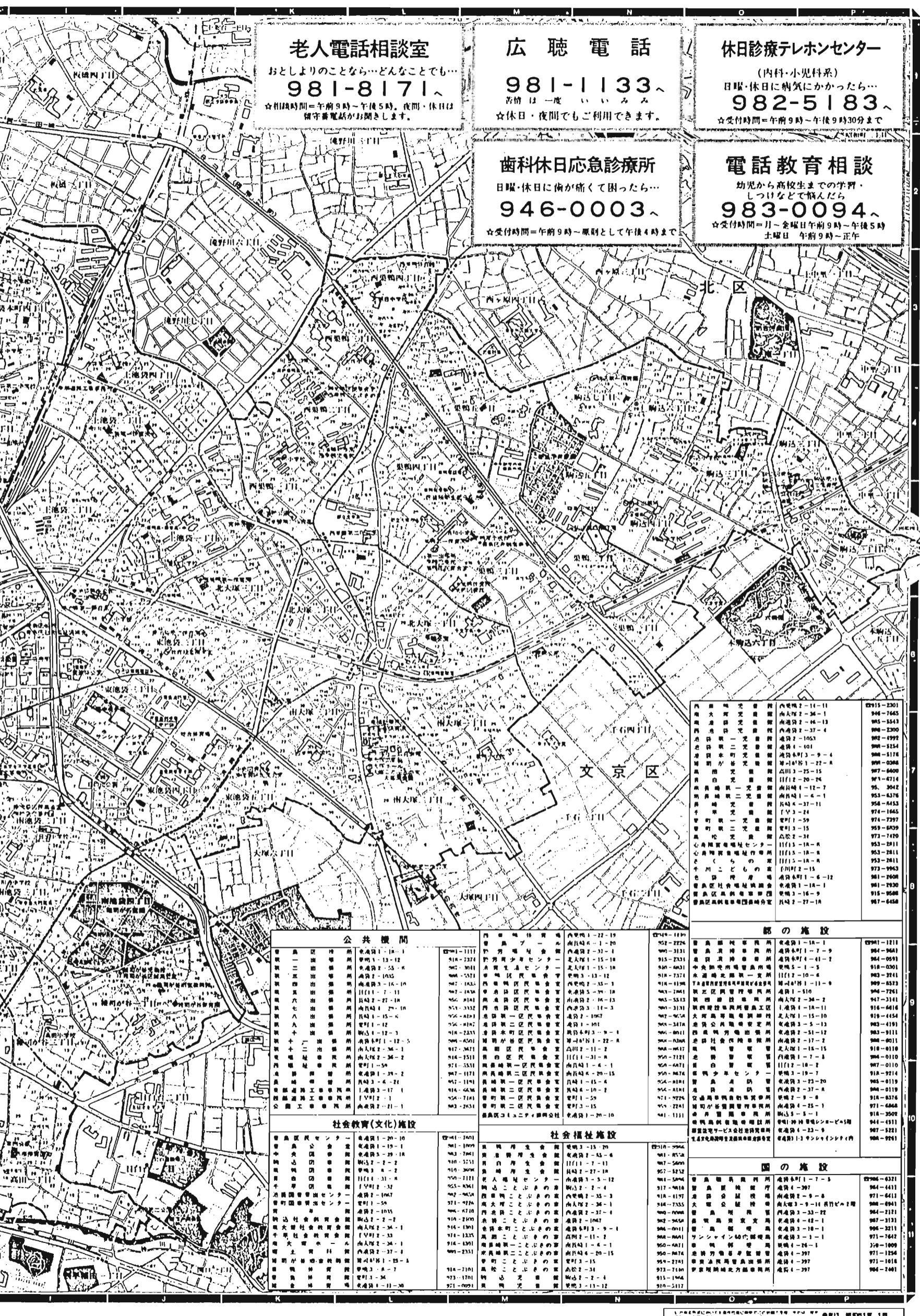
区の歴史、民俗等に関する資料の収集・保管・展示のほか各種講座の開催などを行っています。



## 保養施設

高麗清流園

区民の方に、自然に親しみながら日頃の疲れをいやし、健康の増進をはかっていただくための施設です。豊島荘(熱海)秀山荘(中山湖)、高麗清流園(埼玉県入間郡)、和泉(箱根湯本)の4か所があります。



# 豊島区全図

1:10,000

• 漢語文化研究 • 凡例



# 区民が奏てる交響曲 文化香るまちへ

私たちのまち、豊島区。

そのあわただしい生活の中にも、人びとの心のハーモニーをかもしだす様ざまな音楽活動の輪が広がっています。国際青年年の昨年1年間は、その輪がひときわ鮮やかに輝いた年といえるでしょう。「みんなでつくる『第九』演奏会」の開催、豊島区吹奏楽団の全日本吹奏楽コンクールでの金賞受賞などとともに、キャンパス音楽祭、豊島区文化祭などでも世代を超えた区民の参加が、生活文化都市・豊島を支えてきました。ここにその一部をご紹介しましょう。



みんなアマチュア、手づくりの結晶

## 「区民でつくる『第九』演奏会」

オーケストラ、合唱などの全てがアマチュア。文字通り「区民でつくる『第九』演奏会」は、それぞれの心に深い感銘を残して、成功裡に終わった。

昨年の11月30日、12月1日の

両日、學習院創立百周年記念講堂を埋めつくした区民3千人余り、指揮は、読売日本交響楽団、東京都交響楽団などを指揮してきた山岡重信氏。「お互いに納得しあえる素晴らしい『第九』が演奏できた」と、喜びの色をかくさない。毎年のようにベートーベンの原譜をみ「め直し、独自の解釈で『第九』をくりかえし、指揮してきた山岡氏にとっても、合唱団、ソリストの公募と必死の練習のうえに生みだした今回の「第九」は、思い出深いものになるだろう。

合唱の指導には、千葉大学の山本敬教授と伊藤圭子さんがあつた。当初、16歳から77歳まで300名余が応募し、毎週木曜日、区内の小学校などで練習してきた。慣れないドイツ語の発音の練習もありながら、そのハーモニーの素晴らしさは、指導した山本氏を驚かした。

最後の晴れの舞台を踏んだ人は282名。いかに厳しい練習であったかが分る。

ソリストは、2組4人ずつ計8人が、これも初めての試みとして、オーケストラをバックにしたオーディションで選ばれた。若くて有望な声楽家たちに、このオーディションは非常に大きな希望を与えた。約80人が応募した。

豊島区の文化活動に、貴重な一石を投じたこの「第九」演奏会の輪は、さらに広がっていくだろう。



今年10周年を迎える日本一の

## 「豊島区吹奏楽団」

昨年10月20日、福岡市で行われた「第33回全日本吹奏楽コンクール」一般の部で、最高位の金賞を獲得した。

豊島区吹奏楽団は、昭

和51年4月に結成された。区立第十中学校をはじめとする区内の中学校の高いレベルを、高校生以上にも引き継ぎ発展させようという意欲が結成にこぎつけた。

八田泰一氏を常任指揮者に迎え、マーチ、クラシック、それにスウィング、ジャズ、歌謡曲など、ボビュラーまで、幅広

い年10周年を迎える日本一の

いレパートリーで、区民を楽しませた。団員は89名で役員も含めると100名の大世帯。団員の半数近くが高校生、4分の1が大学生、残りが社会人で平均年齢は20歳と若い。団員の梅村正さんが34歳で最高齢というから、見るからにフレッシュなバンドではある。

今年、10周年を記念し、夏に記念コンサートを企画している。10年間、このバンドを支え、全国でもトップクラスのレベルに押し上げてきた数多くのOBたちは、このコンサートを楽しんでほしい。このコンサートを楽しむことだろう。

梅村団長は、「今後、高校生を中心の若いバンドの良さを伸ばしながら、社会人に多数参加してもらって、新しい境地を切り開きたい」と今後を語った。



30年余の栄えある伝統を継ぐ

## 「区立第十中学校 吹奏楽部」

回全日本吹奏楽コンクール

中学の部では、ボロディン作曲の歌劇「イーゴリ公」から「ダッタン人の踊り」を演奏し、銅賞を受賞した。

練習時間は週4回、早朝練習も自発的に行われている。50人編成のバンドにするため、一年生も全て1軍でがんばる。入れ替りの激しい中学生のバンドが、毎年にわたり全国一のレベルを維持してきたこの努力には、ただただ敬服するばかりである。

